

# 近畿地方植物誌 1

村 田 源

- 凡例: 1. (京)(兵)は府県名を示す。この後に著者の見た標本産地を上げることにした。  
 2. ごく普通なものは産地を省略した。  
 3. I—II, は開花月を示す。  
 4. 北→台, は本州, 四国, 九州, 琉球を含む。本→九は四国を含み。分布範囲を示す。  
 5. ( ) の内は手近にある図を示す。外国文献等にて一般の人々の手近に見ることの出来ないものは省略した。牧野図鑑は, 牧野日本植物図鑑, 寺崎図譜は, 寺崎留吉日本植物図譜, 等。  
 6. (Type) は原品地を示す。  
 7. 地方目録に名前だけあつて, 標本を見ないものは全部このリストから除外した。

## 1 Compositae キク科

- Achillea sibirica Ledeb. ノコギリソウ 頭花は径7—9mm, 花冠は3.5—4.5mm, VII—IX, (京)大見, 西別院村, 半国山, (大)金剛山, (兵)千ヶ峯。樺太→本; 朝, 東亜温帯, 北米。〔牧野図鑑147図〕  
var. discoidea Regel ヤマノコギリソウ 頭花は径4mm以下, 花冠は3mm, (京)半国山。本(中北), 朝, 東亜温帯。
- Adenocaulon himeaicum Edgew. ノブキ VII—X, 山中やや湿つた林内に普通。北→九, 台, 朝, 東亜温帯, ヒマラヤ。〔牧野図鑑172図〕
- Adenostemma Lavenia (L.) O. Kuntze スマダイコン IX—II, 低地の河岸。本(中以南)→アジア温帯, 濠。〔牧野図鑑237図〕
- Ainsliaea acerifolia Sch.-Bip. モミジハグマ 葉は掌状に中裂, VII—IX, (滋)三国岳, (奈)行者還岳, (兵)氷ノ山, 山中林下に生ず。本(三河以西)→九。  
var. subapoda Nakai オクモミジハグマ 葉の切込みは浅い。IX—X, (京)芦生, 比叡山, 足占山, 青葉山, (三)八幡村, 本, 四, 朝, 満, 支。〔牧野図鑑39図〕
- A. apiculata Sch.-Bip. キツコウハグマ 小形で葉は五角形, IX—II, 山中樹陰に普通。北→九, 朝(南)。〔牧野図鑑40図〕
- A. cordifolia Fr. et Sav. テイシヨウソウ IX—II, (三, 和, 奈, 大,) 山中林内。本(安房→東海→近畿), 四。〔牧野図鑑42図〕
- Ambrosia artemisiaefolia var. elatior (L.) Desc. フタクサ VII—IX, 各地路傍。北米原産帰化。〔牧野図鑑170図〕
- Anaphalis margaritacea subsp. japonica Kitamura ホソバノヤマハハコ VII—IX, 葉は巾3mm内外分枝少し。(京)大江山, (兵)妙高山, 栗鹿村(滋)武奈岳, (奈)伯母子岳, (三)青山高原, 山頂草原生。本(西)→九。〔牧野図鑑188図〕  
subsp. yedöensis (Fr. et Sav.) Kitamura カワラハハコ 葉は巾1.5mm内外, 多数分枝, IX—X, (京)保津川, (滋)比良, 鈴鹿, (三)新居村, 御園村, (和)上秋津村, (兵)六甲山, 川原又は山腹草原生。北→九。〔牧野図鑑189図〕
- Antemis Cotula L. カミツレモドキ 一年草, 葉は細分, 頭花は白色黄心径約2cm, VII—IX; 市街地路傍, ヨーロッパ原産帰化。〔植物研究雑誌17巻603頁9図〕
- Arnica Mallatopus Makino チヨウジギク・クマギク, VII—IX, (滋)三国岳(丹生村), 三重岳, (三)野登山, (京)芦生, 深山樹下。本(北→西), 四。〔牧野図鑑107図〕
- Artemisia annua L. クソニンジン 無毛1年草, 頭花は径1.5mm内外, VII—X, 各地路傍。本→九, 台, 朝, アジア温帯, 東欧。〔牧野図鑑121図〕
- A. apiac Hance カワラニンジン 無毛2年草, 頭花は径4—5mm, VII—IX, 各地河岸畑地。本(中)→台, 朝, 満, 支。〔牧野図鑑119図〕
- A. capillaris Thunb. カワラヨモギ 葉は細く分れ茎生葉は無毛, 根葉は白毛あり, 半灌木, IX—X, 各地河原荒地。本→台, 朝, 満, 支, ヒリツピン。〔牧野図鑑120図〕
- A. Feddei Lev. et Van. ヒメヨモギ 頭花は巾1mm, 長さ2mm. IX—II, (京)宇川村, (兵)姫路。本→九, 台, 朝, 東亜温帯。〔牧野図鑑118図〕
- A. Fukudo Makino フクド ハマヨモギ, 2年草,

註, 1) 岡本勇治氏: 大和植物誌には, ヤマハハコ(金剛山), ヤハズハハコ(高取山, 高見村)が記録されているが著者はまだ標本をたしかめていない。ヤハズハハコ A. sinica Hance は分布上から見てあつていいと思う。

- 頭花は巾4mm, IX-X, (三)二見、(兵)淡路島, 海岸生。本(中)→九, 朝。〔牧野図鑑122図〕
16. *A. japonica* Thunb. オトコヨモギ 葉は楔形で分裂せず無毛, 頭花は巾1.5mm, IX-X, 各地浅山。北→台, 朝, 満, 支, ヒリツピン。〔牧野図鑑116図〕
17. *A. Keiskeana* Miq. イヌヨモギ 葉はオトコヨモギに似て裏面に褐色毛があり, 頭花は径3-4mm, IX-X, (京)老ノ坂, (大)妙見山, (兵)六甲山, (奈)山上岳, 向陽山地生。北→九, 朝, 満, 北支。〔牧野図鑑117図〕
18. *A. monophylla* Kitamura ヒトツバヨモギ 葉は卵状披針形で分裂せず下面白綿毛あり, VIII-IX, (滋)三國岳(伊香郡)稀。本(北部→大山)。〔牧野図鑑124図〕
19. *A. montana* (Nakai) Pampam. オオヨモギ ヤモギ, 葉は大形, 頭花は径3mm, IX-X, (京)芦生, (滋)伊吹山, 山地生。千, 樺→本。〔牧野図鑑115図〕
20. *A. princeps* Pampam. カズザキヨモギ ヨモギ, 頭花は径1.5mm, 長さ3.5mm, IX-X, 各地路傍に最も普通なヨモギ。本→九, 小, 朝, 台。〔牧野図鑑114図〕
21. *A. dubia* Wall. ニシヨモギ ヨモギ, 頭花は径2.5-3mm, 長さ3.5-4mm, IX-X, (京)西大浦村。本(関東以西), 九→台, 支。
22. *A. scoparia* Wald. et Kitaib. ハマヨモギ カワラヨモギに似て頭花は巾1mm, IX-X, (京)下川口村-海岸生。本, 朝, 欧亜。
23. *Aster ageratoides* Turcz. subsp. *angustifolius* Kitam. ホソバコンギク マヤサンコンギク, 葉は8-10cm長, 1-1.5cm巾。総苞は長さ5.5mm。VIII-XI, (大)葛城山, (和)澗, 小川村, 秋津川村, (三)三尾川, (奈)白川渡, (京)宇治, 比叡山, (兵)猪鼻谷(淡路), 摩耶山 (Type), 八幡村, 生野, 山間溪側生。本(近畿以西)→九。  
subsp. *ovatus* (Fr. et Sav.) Kitam. ノコンギク 各地山足路傍に普通, 花は淡紫色, ヨメナに似て長い冠毛がある, IX-XI, 本→九(種子島迄)。〔牧野図鑑207図〕  
subsp. *ripensis* (Miq.) Kitam. タニガワコンギク (宇井氏、紀州植物誌及び岡本氏、大和植物誌にセンボンギクとあるのはこれである。) 花は淡紫色、上方多数分枝し葉はホソバコンギクより更に細く巾2-5(-10)mm, 総苞は長さ5mm, X-XI, (和)田辺南部, (奈)牛抱坂, (三)川沿, 七保, 溪側生。本(近)→九。
24. *A. Glehni* Fr. Schmidt var. *hondoensis* Kitam. ゴマナ 高さ1m以上に達し花は白色多数, IX-X, (京)鞍馬, 大悲山, 芦生, 五十河村, (滋)西庄村, 伊吹山。本。〔牧野図鑑219図〕
25. *A. kcmoncensis* Makino コモノギク タマギク, VII-IX, (三)御在所山 (Type), 鎌ヶ岳, 大合ヶ原, (奈)山上岳, 釈迦岳。近畿及び四国, 山地岩上生。〔寺崎図譜続2131図〕
26. *A. leiophyllus* Fr. et Sav. シロヨメナ ヤマシロギク, 花は白色, イナカギクに似て毛は少なく葉基は茎を抱かない。IX-XI, 各地向陽山地。本→九, 合。〔牧野図鑑208図〕  
var. *stenophylla* (Kitam.) Hara ホソバノシロヨメナ 葉は細く巾1-1.3cm, IX-X, (奈)十津川 (Type), (三)大杉谷。
27. *A. rugulosus* Maxim. サワシロギク IX-X, (京)田辺町, 山田荘村, (兵)藍村, (三)金生水, 島ヶ原 (滋)布施池, 山間湿地生。北→九。〔牧野図鑑211図〕
28. *A. scaber* Thunb. シラヤマギク IX-XI, 各地向陽山地。北→九(種子島迄), 朝, 東亜温帯。〔牧野図鑑210図〕
29. *A. Sekimotoi* Makino ナガバシラヤマギク ヤマサワシロギク, IX-X, (滋)市辺村。本(関東-近畿)。〔寺崎図譜2138図〕
30. *A. semiamplexicaulis* Makino イナカギク (ヤマシロギク), シロヨメナに似て葉は毛多く基部茎を抱く, IX-XI, 各地向陽山地。本(信州以西)→九。〔牧野図鑑209図〕
31. *A. semiamplexicaulis* × *A. leiophyllus* Kitam. イナカシロヨメナ (新称) IX-XI, (京)榎敷岳, (和)扇尾山, 下神野村, 高野山。
32. *A. sohayakiensis* Koidz. ホソバノギク キシユウギク, サワシロギクに似て葉は光沢あり鋭尖頭, 花梗は短くて苞がある, VII-X, (和)澗 (Type), 色川, 大里, (三)神川村, 特産, 溪側岩上生。〔宇井: 紀州植物誌p. 14, 2 図, 伊藤: 三重県植物誌160図〕
33. *A. subulatus* Michx. ホオキギク IX-XI, 各地低湿地。北米原産帰化。〔牧野図鑑225図〕
34. *A. tenuipes* Makino クルマギク 葉は線状披針形 長さ5-10cm, 巾5-10mm, まばらに鋭鋸歯あり, VIII-IX, (和)那智滝, 大塔山, 溪側岩上生。特産。
35. *A. Tripolium* L. ウラギク ハマシオン, 葉は質厚く無毛全辺で基部茎を抱く, IX-XI, (和)新庄, 鹿島入江, (大)桜島, (兵)大塩, 的形, 海滨湿地生。北→九, 朝, 欧亜。〔牧野図鑑224図〕
36. *Attractylodes japonica* Koidz. オケラ X-XI, 各地向陽山地 (山城にはない)。本→九, 朝, 満, 沿海州。〔牧野図鑑70図〕

37. *Bidens bipinnata* L. コバノセンダングサ 葉はセンダングサより細かく切込み薄く頂羽片は細く鋸齒は少い、Ⅷ—Ⅹ、(滋)水口町、(大)牧方、(兵)的形。本→合、亜、欧、米、濠、アフリカ。
38. *B. biternata* (Lour.) Mer. et Sherff. センダングサ 葉は2—3回羽状、果実は線形3—4刺、Ⅸ—Ⅺ、各地路傍低地生。本(中)→合、朝、東南アジア、ポリネシヤ、濠、アフリカ。〔牧野図鑑157図〕
39. *B. flondosa* L. アメリカセンダングサ 茎は紫色を帯び、果実は扁平で2刺あり、中葉は羽状複生、Ⅸ—Ⅺ、各地山野路傍。北米原産帰化。〔寺崎図譜1355図〕
40. *B. parviflora* Willd. ホソバノセンダングサ 果実は線形で2刺。葉は細かく分裂、Ⅸ—Ⅹ、(滋)伊吹山麓、彦根。本(中)→九、朝、東亜温帯、ダフリヤ。〔増訂草木図説Ⅲ、920図〕
41. *B. pilosa* L. var. *minor* (Bl.) Sherff. シロノセンダングサ シロバナノセンダングサ、果実は線形3—4刺、葉は通常3出、Ⅹ、(兵)淡路島、(奈)三輪山麓、本(中)→合、小、落、汎熱帯。〔寺崎図譜1357図、増訂草木図説Ⅲ、918図〕
42. *B. tripartita* L. トウコギ 果実は扁平2刺、中葉は3—5裂、各地低湿地。北→合、朝、欧、亜、北アフリカ、濠。〔牧野図鑑158図〕  
var. *repens* (D. Don) Sherff. ハイトウコギ ヒメトウコギ、果実は長さ6.5—7.5mm、無毛で刺は2—3mm(トウコギは果実長7—11mmで縁辺又は脈上に逆毛あり刺は3—4mm)、Ⅸ—Ⅹ、(滋)篠原。本(西)、朝、支、印、マレーシヤ。
43. *Cacalia adenostyloides* (Fr. et Sav.) Matsum. Ⅰ—Ⅹ、カニコウモリ 葉は少数で腎形、不斉欠刻齒縁、Ⅷ、Ⅰ—Ⅹ(奈)山上岳、大合ヶ原、亜高山林下生。本(中北)、四。〔牧野図鑑93図〕
44. *C. delphiniifolia* Sieb. et Zucc. モミジガサ 葉は掌状に5—7中裂、葉の脈は隆起せず、総苞は長さ9—10mm、Ⅸ—Ⅹ、各地山中樹下。北→九。〔牧野図鑑99図〕
45. *C. farfaraefolia* Sieb. et Zucc. ウスゲタマブキ (三重県植物誌、大和植物誌にタマブキとあるのはこれである) 葉は三角形で基部心形、タマブキ〔牧野図鑑103図〕に比して葉裏ごく毛が少い、Ⅸ—Ⅹ、(京)花背、(滋)比叡山。本(関東以西)、四、九。  
var. *acerina* (Makino) Kitam. ミヤマコウモリソウ モミジタマブキ、ウスゲタマブキに似て葉は掌状中裂、Ⅸ—Ⅹ、(奈)大合ヶ原、亜高山林下生。本(東海、大和)、四、九。
46. *C. hastata* L. subsp. *farfaraefolia* (Maxim.) Kitam. コウモリソウ 葉は5角状3角形、巾13—15cm。基部茎を抱かない、総苞は長さ8.5—10mm(ヨブスマソウは葉も更に大きく総苞も長さ10—12mm)、Ⅷ—Ⅹ、(奈)行者岳、山上岳、亜高山林下生。本(関東一近畿)、屋久島。〔牧野図鑑92図〕
47. *C. nikomontana* Matsum. オオカニコウモリ 葉はやや5角形で花序は聚繖状、茎は著しく屈曲、葉は巾9—27cm、Ⅸ—Ⅹ、(兵)妙見山、興谷村、小代村、(滋)比叡山、綿向山、三重岳、伊吹山、(京)大悲山、(奈)百川渡、(三)御在所山、亜高山林下生。本。〔牧野図鑑94図〕
48. *C. peltifolia* Makino タイミンガサ 大形、葉は楕状円形で分裂、Ⅷ—Ⅹ、(京)芦生、大江山、(兵)妙見山、八田村、三方村、榊楽村、(滋)金葉山、山中林下生。本(越中一近畿)。〔牧野図鑑97図〕
49. *C. shikokiana* Makino ヒメコウモリソウ オオカニコウモリに似て小さく葉は巾3.5—4.5cm、欠刻はやや深い、Ⅸ—Ⅹ、(和)日置川上流(稀)。本(近)、四。〔牧野図鑑102図〕
50. *C. tebakaensis* Makino テバコモミジガサ モミジガサに似て匍枝を出し、葉脈は隆起し、総苞は長さ5—6mm、Ⅷ—Ⅹ、(奈)玉置山、大合ヶ原、山上岳、彌山、(和)護摩壇山、山中林下生。本(武一近)→九。〔牧野図鑑100図〕
51. *C. Yatabei* Matsum. var. *occidentalis* F. Maekawa ニシノヤマタイミンガサ タイミンガサに似て葉は底着(楕状でない)、ヤマタイミンガサに比して総苞片は3—4、小花は3、Ⅸ—Ⅹ、(大)岩湧山、(奈)大合ヶ原、彌山、山中林下生。本(飛騨以西)→九。
52. *Carduus crispus* L. ヒレアザミ ヤハズアザミ、茎に翼がある、Ⅴ—Ⅶ、(京)横大路、路傍生。本→九、欧、シベリア、コーカサス、東亜。〔牧野図鑑69図〕
53. *C. pycnocephalus* L. オニヒレアザミ(大) 甲子園、欧原産帰化、今日絶滅?(久内:帰化植物113図)
54. *Carpesium abrotanoides* L. ヤブタバコ 頭花は無柄で穂状に並ぶ、Ⅸ—Ⅹ、(京)比叡山、上賀茂、鞍馬、林下生。本→合、朝、支、コーカサス、南欧。〔牧野図鑑174図〕
55. *C. cernuum* L. コヤブタバコ ガンクビソウに似て総苞は皆同長、頭花は横にひらたく径1—1.5cm、葉柄有翼、Ⅷ—Ⅹ、(兵)三熊山、(滋)北比都佐村、

註、2) 岡本氏:大和植物誌にはヨブスマソウ(大普賢岳)が記録されている。

- 伊吹山, (奈)吉野, (三)船越。北→合, 朝, 溝, 支, 印, コーカサス, 歐。〔牧野図鑑175図〕
56. *C. divaricatum* Sieb. et Zucc. **ガンクビソウ** コヤブタバコに比し葉柄に翼なく頭花は径約8mm, 総苞外片は短い, VIII—X, (京)芦生, 貴船, 愛宕山, 大悲山, (和)高野山, (滋)伊吹山, 鈴鹿峠, (奈)金剛山。本→合, 朝, 溝, 支。〔牧野図鑑173図〕
57. *C. glossophyllum* Maxim. **サジガンクビソウ** 頭花は1—3個, 径8—15mm, VIII—X, 山中各地。本→疏, 落。〔牧野図鑑176図〕
58. *Carpesium* Hosokawae Kitamura **バンジンガンクビソウ** 葉は線状披針形, 頭花は柄が短かく横径約4mm, IX—X, (京)貴船, 鞍馬, (奈)葉師峠, (滋)鎌掛村, 山中林下生。本(西南)→合。
59. *C. Koidzumii* Makino **ホソバガンクビソウ** ヤブタバコモドキ, 頭花は巾5—6mm, 葉は長楕円形で翼はない, IX—X, (奈)山上ヶ岳, 大台ヶ原, (兵)広田村, 赤西国有林, 山中林下生。本→九。
60. *C. Matsuei* Tatew. et Kitam. **ノツボロガンクビソウ** ホソバガンクビソウに似て頭花は半球形, 巾11mm, 総苞片は皆同長, VIII—IX, (滋)霊仙山, 竜ヶ岳。北→本(近)。〔寺崎図譜続2155図〕
61. *C. rosulatum* Miq. **ヒメガンクビソウ** サジガンクビソウに似て頭花は小形, VIII—X, (滋)西大路村, (京)愛宕山, 貴船, (奈)春日山, 高野山, 川上村, (三)朝熊山, (和)飛鳥村, 本(中—西), 九, 落。〔牧野図鑑177図〕
62. *C. triste* Maxim. **ミヤマガンクビソウ** ガンクビヤブタバコ, 葉柄は有翼, 質やや硬くコヤブタバコより葉基急に狭まる, VIII—X, (兵)氷ノ山, 山中林下。北→九。〔牧野図鑑178図〕
63. *Centipeda minima* (L.) Al. Br. et Asch. **トキンソウ** VII—IX, 各地畑地路傍。北→合, 朝, 東南アジア, 落。〔牧野図鑑112図〕
64. *Chrysanthemum* Aphrodite Kitam. **サンインギク** 花は白又は黄色で径3—4.5cm, シマカンギクに似て大きく繖房状につき, 総苞外片は長楕円形—線形, XI—XII, (京)湊村。本(日本海岸)。〔寺崎図譜続2158図〕
65. *C. boreale* (Makino) Makino **キクタニギク** アワコガネギク, 花は黄色多数径15mm, 匍枝はない, X—XI, (京)宇治, 貴船, 細野村, (滋)大津, (大)川上村, (奈)高見村, (三)八幡村。本(陸中—近畿
- 一老岐), 四, 対, 溝, 朝, 北支。(牧野図鑑135図)
66. *C. indicum* L. **アブラギク** ハマカンギク, シマカンギク, 花は黄色で径2.5cm, 匍枝あり, 総苞外片はやや卵形, X—XI, (京)比叡山, (大)二上山, 葛城山, (奈)曾爾村, (三)奥津, (和)三尾村, 田辺, 久木, (兵)猪鼻谷(談路), 赤穂, 六甲山, 摩耶山。本(西), 九, 朝(南), 合, 支。〔牧野図鑑133図〕
67. *C. japonicum* (Makino) Nakai var. *debile* Kitam. **セトノジギク** 花は通常白色, 径3—5cm, ノジギクに比し葉薄く裏面白毛少なく花数が多い, X—XI, (兵)石ノ宝殿, 姫路, 千草村, 的形, (和)加太。本四, 九, 瀬戸内海岸。
68. *C. leucanthum* (Makino) Makino **シロバナアブラギク** リュウノウカンギク, 花は白色, リュウノウギクとアワコガネギクの間形, X—XI, (和)高野山, 細見村, 山田村。四郷村, (大)信太村, 天見村。本(関東—近畿)。
69. *C. Makinoi* Matsum. et Nakai **リュウノウギク** 葉の基部は楔形, 総苞片はほぼ同長, 花白色, 径2.5—5cm, X—XI, 各地向陽山地, 本→九。〔牧野図鑑131図〕
- f. *chrysanthum* (Mak. et Sakaguchi) Hara **キバナリュウノウギク** 黄花, (大)信太村。
- var. *wakasaense* (Shimotomai) Kitam. **ワカサハマギク** 茎太く葉は大形で花は多数, X—XI, (兵)余部村, 浜坂, (京)青葉山, 由良, 久美浜村, 西大浦村。本(越前—但馬)。
70. *C. Ogawae* Kitam. **ヒノミサキギク** シマカンギクとキノクニシオギクとの雑種, X—XI, (和)由良村, 比井崎村(Type)。〔植物分類地理5巻 p. 244〕
71. *C. Shiwogiku* Kitam. var. *kinokuniense* Shimotomai et Kitam. **キノクニシオギク** (伊藤: 三重県植物誌及び宇井: 紀州植物誌にイソギクとあるのはこれである)。舌状花はごく短いかまたはない, 葉は楔状で上端のみやや浅裂, シオギクより小形で狭く総苞も巾狭い, XI—XII, (和)串本, 勝浦, 新宮, 由良村, 周参見, 瀬戸鉛山村, 富士橋村(Type) (三)波切, 浜島。海岸生。〔寺崎図譜続2163図〕
72. *C. Zawadskii* Herbich **イワギク** ホソバチヨウセンギク, 葉は綿毛なし, 羽状全裂, 頭花は径3—6cm, 淡い淡藍色, VIII—X, (奈)大台ヶ原, 山上生。本(越前—近畿)→九, 朝, 東亜温帯, シベリア,

註, 3) 宇井氏: 紀州植物誌及び, 山本氏: 大和植物誌にヤマアザミ *C. spicatum* の記録されているのは何かの当ちがい(これはまだ九州以外に知られていない。伊藤: 三重県植物誌にヒトツバアザミ *C. oligophyllum* が載っているがまだどんなものかこの植物を見たことがない。なお紀州植物誌にはクルマアザミがあるがまだ標本を見ず。何かの誤りであろう。)

- 東欧。〔植物学雑誌24巻 p. 302 f. 21〕
73. *C. bitchuense* Nakai **ビツチュウアザミ** 頭花は著しく粘着性（マニサンアザミは不粘着），Ⅸ—Ⅺ，（兵）船越山。本（近—中国）。（註 3）  
var. *manisanense* Kitam. **マニサンアザミ** ヒメヤマアザミに似て頭花は長柄あり葉は大形で抱茎，花時根葉なし，Ⅸ—Ⅺ，（兵）絹巻国有林。本（但—因）。
74. *C. Búergeri* Miq. **ヒメヤマアザミ** 葉基茎を抱き頭花は短柄または無柄，Ⅸ—Ⅺ，各地山中。本（近），九。  
var. *araneosum* Kitam. **イブキヒメヤマアザミ**（新称）、葉基総苞密に蛛網状毛あり，（滋）伊吹山（Type），特産。  
var. *decurrens* Kitam. **ナガレバヒメアザミ** 葉基やや茎に沿下する，（大）箕面（Type），ホノリー氏が採つたもので以後また採つた人はない。
75. *C. comosum* (Fr. et Sav.) Matsum. var. *incomptum* (Maxim.) Kitam. **タイアザミ** トネアザミ，頭花は転頭し総苞片の先は刺状で反展開出する。Ⅸ—Ⅺ，（滋）鈴鹿峠，（三）高見山，加太村，山地生。本（関東—近畿）。
76. *C. confertissimum* Nakai **コイブキアザミ** 葉は密生し基部茎を抱く，頭花は多数密集，総苞片は刺なく粘着する。Ⅷ—Ⅹ，（滋）伊吹山（Type），特産。山上生。  
var. *herbicola* Nakai **イブキアザミ** 前者に比し大型，（滋）伊吹山（Type）。特産。
77. *C. congestissimum* Kitam. **ヒツツキアザミ** 頭花はほとんど柄がなく集合し，総苞片は粘着せず凸状小刺に終り反曲する。Ⅸ—Ⅺ，（奈）古光山，（兵）八田村，粟鹿山，黒川，（三）小杉村，山地生。本（近畿—中国）。
78. *C. dipsacolepis* (Maxim.) Kitam. **モリアザミ** 総苞片は外片も長く巾広し，頭花は枝上に単生，Ⅸ—Ⅺ，（京）芦生，比叡山，半国山，長老岳，五箇村，（奈）国見山，高見村，（滋）杉木村，比良山，（和）石生峯，山地生。本→九。（寺崎図譜1375図）
79. *C. Gyojanum* Kitam. **ギョウジャアザミ** 頭花は転頭し短梗あり，総苞片は粘着生，Ⅷ—Ⅹ，（奈）大峯山（Type），大合ヶ原，彌山，（和）ヤノコ峠，山地生。本（大和），四。
80. *C. japonica* DC. **ノアザミ** 花は春咲，Ⅴ—Ⅶ，各地路傍に普通。本→九（屋久島迄）。（牧野図鑑59図）  
form. *leucanthum* Nakai **シロバナアザミ**（滋）南五ヶ荘村。  
var. *ibukiense* Nakai **ミヤマコアザミ** 丈低く密に葉あり，刺針は太く長さ 3—5mm，（滋）伊吹山（Type），特産。  
var. *vestitum* Kitam. **ケシヨウアザミ** ウラジロノアザミ，葉の下面白色，（京）福知山，天ノ橋立。本（近—中国），四。  
form. *Arakii* (Kitam.) Kitam. **シロバナケシヨウアザミ**（京）福知山（Type）。
81. *C. kagamontanum* Nakai **カガノアザミ** 頭花は長柄があつて下垂，総苞は粘着し巾25mm，Ⅸ—Ⅹ，（京）大悲山，芦生，芹生，（滋）比良山，今津，（兵）氷ノ山，赤西国有林，山地生。本（羽前→北陸→畿）。
82. *C. longe-pedunculatum* Kitam. **ナガエノアザミ** ネバリヒメアザミ，頭花ははなはだ長柄があつて下垂，総苞は粘着し巾20mm，Ⅸ—Ⅹ，（京）雲ヶ畑，芦生，青葉山（Type），（兵）八田村，九斗山，（滋）西庄村，山地生。本（近）。
83. *C. lucens* Kitam. **テリハアザミ** 根生葉は花期にも残り葉は黄緑色で光沢あり，頭花は単生巾3.5cm' Ⅸ—Ⅹ，（滋）坊村，河岸生。本（西），九。
84. *C. Magofuki* Kitam. **イナベアザミ** 総苞片は巾広く著しく反曲し，縁辺疎に小刺針がある，Ⅸ—Ⅺ，（三）治田村（Type），特産。
85. *C. maritimum* Makino **ハマアザミ** 花時根葉あり，総苞片は直立，花冠の筒部は長い，Ⅶ—Ⅺ，（和）椿，勝浦，瀬戸鉛山村，加太，（三）大島，答志，海岸生。本（伊豆以西）→九。（牧野図鑑64図）  
form. *leucanthum* Nakai **シロバナハマアザミ**（和）御船村。本。
86. *C. Matsumurae* Nakai var. *dubium* Kitam. **ホクロクアザミ** 葉は下面緑色で全辺又は中裂，トゲは少ない，総苞片は短く外反，Ⅸ—Ⅺ，（滋）西庄村，丹生村，塩津村，山地生。本（能登—近畿）。
87. *C. microspicatum* Nakai **アズマヤマアザミ** 頭花は無梗，葉は茎を抱かず下面密に蛛網毛あり，総苞片は短く外反，総苞は細く筒状，Ⅸ—Ⅺ（三）野登山，（滋）芹谷村，山地生。本（関東—近畿）。  
var. *kiotense* Kitam. **オハラメアザミ** 総苞片の先にトゲなく外反しない，Ⅸ—Ⅺ，（京）北白川（Type），嵐山，高尾，愛宕山，鞍馬，比叡山，芦生，大江山，（大）尺代，箕面，妙見山，（兵）城崎，神池寺，（奈）多武峯，山地生で京阪神に最も普通。本（近畿）。
88. *C. Sieboldii* Miq. **マアザミ** キセルアザミ，サワアザミ，頭花は単生転頭，Ⅸ—Ⅺ，（兵）六甲山，（奈）高見村，貝留尊山，（京）山中越，宝池，大原，（滋）伊香立村，間野，布施池，（三）八田村，山間湿

- 地生。本→九。(牧野図鑑65図)
89. *C. suzukaense* Kitam. **スズカアザミ** 総苞は細く頭花は直立、総苞片は6列で短く反曲、Ⅸ—Ⅺ、(滋)鈴鹿峠(Type)、多賀町、西大路村、(大)私市(三)菅島、朝熊山、矢頭山、外宮、赤目、山地生。本(東海—近畿)。
90. *C. Tashiroi* Kitam. **ワタムキアザミ** 高さ30—50 cm、花時根葉(無柄)あり、総苞片は反曲6列、Ⅸ—Ⅺ、(滋)綿向山(Type)、西庄村、湯山越、(三)野登山、鎌ヶ岳、加太村、朝熊山、御在所山、坂下村、山地生。本(遠江—近畿)。
91. *C. Yoshinoi* Nakai **ヨシノアザミ** 総苞片は短く外反、スズカアザミに似て総苞は広く鐘形、総苞片は7裂、Ⅸ—Ⅺ、各地山地。本(近畿—中国)。  
var. *amplifolium* Kitamura **オオバアザミ** ヨシノアザミに似て葉は非常に大形、Ⅸ—Ⅺ、(兵)氷ノ山、八田村、赤西国有林、生野、(京)福知山、ルリ溪、餘内村、芦生、長老岳、(滋)比良山、芦谷村、山地生。本(近畿—中国)。  
var. *tristissimum* (Kitam.) Kitam. **イナカアザミ** オオバアザミに似て総苞は細く巾8—10mm、小花は少ない、Ⅸ—Ⅺ、(滋)伊香立(Type)。
92. *Conyza japonica* (Thunb.) Less. **ワタナ** ヤマジョウギク、Ⅴ—Ⅷ、(和)那智、(三)尾鷲町、九塊村、本(中南)→台、東南アジア、ヒリツピン。(牧野図鑑196図)
93. *Cotula australis* Hook. f. **マメカミツレ** (1933年九州福岡で中島一男氏が採集されたのが本邦渡来の初記録、1937年宇野氏が須磨で採集、1939年森本氏が神戸税関で採られたのを久内氏が見て和名をつけられた。太平洋戦争後和歌山市の焼跡にはこれが非常に多く見られた。今日伊豆にも知られている。) 2年草で茎は這い葉は細分、Ⅲ—Ⅶ、(兵)神戸、須磨、(和)和歌山市、(大)淡輪。欧州原産帰化。(植物研究雑誌17巻601頁4図、久内: 帰化植物115図)
94. *Crepidiastrum Keiskeanum* (Maxim.) Nakai **アゼトウナ** 葉は厚く倒卵形で鋸歯縁、花は黄色、Ⅺ—Ⅻ、(三)菅島、波切、(和)瀬戸、田辺、勝浦、日崎、海岸岩上生。本(伊豆以西)→九。(牧野図鑑20図)
95. *Diaspanthus uniflorus* (Sch.-Bip.) Kitam. **クサヤツデ** 葉は根生掌状5—7裂、花序は円錐状、Ⅸ—Ⅺ、(三)相賀、滝原村、野登山、(和)那智、三川村、白口峰、(奈)十津川、河合、川上村、山中河岸生。本(東海)→九。(牧野図鑑43図)
96. *Eclipta prostrata* (L.) L. **タカサブロウ** 1年草、葉は対生し糙波、Ⅸ—Ⅺ、各地低湿地水田。本→台全世界温帯。(牧野図鑑166図)
97. *Emilia sonchifolia* (L.) DC. **ウスベニニガナ** 葉は栽培のベニニガナに似て花は淡紫色、Ⅸ—Ⅺ、(和)下秋津村、本(紀)→台、熱帯アジア、アフリカ。(牧野図鑑84図)
98. *Erechtites hieracifolia* (L.) Rafin **ダンドボロギク** 軟質大形1年草、葉は長楕円状披針形、花後冠毛は純白色で目立つ、Ⅸ—Ⅺ、各地山間、特に後採跡に急速にはびこる。関西に入ったのは昭和15—6年頃からである。アメリカ原産帰化。(久内: 帰化植物117図)
99. *Erigeron annuus* (L.) Pers. **ヒメジヨオン** Ⅶ—Ⅸ、各地路傍、北米原産帰化。(牧野図鑑202図)
100. *E. bonariensis* L. **アレチノギク** 頭花は比較的まばらで総苞は約5mm、Ⅲ—Ⅶ、各地路傍、凡熱帯原産帰化。(牧野図鑑204図)
101. *E. canadensis* L. **ヒメムカシヨモギ** 頭花は最も小さく、小舌状花あり、Ⅷ—Ⅸ、各地路傍、北米原産帰化。(牧野図鑑201図)  
var. *levis* Makino **ケナシヒメムカシヨモギ** 全体無毛、各地路傍。
102. *E. strigosus* Muhl **ヤナギバヒメジヨオン** ヒメジヨオンに比し葉は細い、Ⅶ—Ⅷ、(三)上野、小田村、やや高原生。帰化。(牧野図鑑203図)
103. *E. sumatrensis* Retz. **オオアレチノギク** ヒメムカシヨモギに比し大形、総苞は長さ約7mm、Ⅶ—Ⅸ、各地路傍。(久内: 帰化植物120図左)
104. *Eupatorium chinense* L. var. *simplicifolium* (Makino) Kitam. **ヒヨドリバナ** Ⅷ—Ⅸ、(大)金剛山、(京)吉田山、嵐山、比叡山、愛宕山、東山(三)朝熊山、(兵)雪彦山、山地生。北→九、朝満、支。(牧野図鑑232図)  
form. *eglandulosum* (Honda) Hara **ホシナシヒヨドリバナ** 葉下面腺点なし、Ⅷ—Ⅸ、(兵)三熊山、(和)那智、周参見。本→九。  
form. *tripartitum* (Makino) Hara **ミツバヒヨドリバナ** 葉は3裂しフジバカマに似るが下面腺点あり、Ⅷ—Ⅸ、(滋)伊吹山、(京)愛宕山、大布施、上和知、山地生。本、朝、支。  
var. *disectum* (Makino) Hara **キクバヒヨドリ** 葉は細分腺点あり。Ⅷ—Ⅸ、(三)朝熊山、(和)那智(滋)上田上、(兵)有馬、山地生。本(近)、四、九、朝。(キモンヒヨドリはヒヨドリバナのバイラス病におかされたもの)。(次号へ続く)